第二次新潟市立図書館ビジョン　令和6年度最終自己評価シート（全館）

資料3－2

図書館の基礎的数値		実績（全館）					
		指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	資料購入費（単位：千円）	決算額（紙資料、電子資料）	95,301	105,523	90,137	89,970	90,086
2	蔵書冊数（単位：冊）	図書のみ	1,873,262	1,881,453	1,870,257	1,877,688	1,844,516
3	個人貸出人数（単位：人）	図書、雑誌、AV、電子	955,010	1,058,352	1,086,785	1,074,260	1,055,905
4	個人貸出点数（単位：点）	図書、雑誌、AV、電子	3,485,739	3,725,127	3,674,726	3,554,353	3,443,213
5	個人登録者数（単位：人）	有効期間は4年	126,161	120,654	113,767	108,799	109,528
6	（うち新規登録者数）（単位：人）	上記の内数	10,190	12,911	12,563	12,452	11,980
7	団体の貸出冊数（単位：冊）	図書、雑誌	107,692	107,140	107,425	106,510	107,308
8	入館者数（単位：人）	図書館のみ	1,749,721	1,897,949	1,953,712	2,017,825	2,039,534

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
主な出来事	・「第二次新潟市立図書館ビジョン」策定 ・「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」策定 ・4学校図書館支援センターを中央に集約 ・学校図書館支援センターが「Library of the year 2020」特別賞を受賞	・「新潟市立図書館公式Xアカウント」開設 ・中央図書館が「ビブリオバトル・オブ・ザ・イヤー2021」特別賞を受賞 ・「にいがた市電子図書館」開始 ・マイナンバーカードの貸出カード連携を開始	・中央図書館開館15周年 ・「スマート貸出カード」開始	・新潟市立図書館協議会の設置 ・中央図書館付属駐車場の民間貸付開始 ・市立学校の児童生徒に電子図書館利用ID・パスワードを配付 ・「国立国会デジタル化資料送信サービス」の提供館の拡大 ・「新潟市総合計画2030」策定	・月潟・潟東・岩室図書館の夜間開館時間を短縮（19時までの開館を17時までに） ・「新潟市読書バリアフリー推進計画」策定 ・オンライン登録申請（貸出・パスワード発行）の開始 ・「全国放送番組アーカイブ・ネットワーク」（番組アーカイブネット）の開始 ・「新潟市教育振興基本計画」策定
臨時休館など	【新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に伴う臨時休館等】 ・全館臨時休館（4.23～5.10） ・全館開館予約資料の貸出のみ再開（5.11～5.20） ・貸出期間、冊数の拡大（8.6～7.7） ・内野図書館空調設備工事のため臨時休館（8.17～2.28） ・鳥屋野図書館空調設備工事のため臨時休館（11.1～3.31）		・潟東図書館空調設備工事のため臨時休館（11.1～3.1）	・能登半島地震の影響により内野図書館臨時休館（1.4） ・白根図書館空調設備工事のため臨時休館（12.1～2.28）	

ア　市民の生涯学習や課題解決を支援します。	概要	取組	指標	実績	実績	実績	実績	目標	実績	第二次図書館ビジョン（R2～R6）の成果と課題	学びのコンパス施策番号
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度		
施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供	幅広い蔵書・情報を収集するとともに、オンラインネットワークを生かし、市民への速やかな資料提供をします。また、来館や活字による読書が困難な方々にも、図書館資料を提供できるよう努めます。	① 利用者のニーズを踏まえ、新潟市の図書館全体のバランスを考慮した幅広い資料の収集と保存【継続】 ② オンラインネットワークと配本システムを生かした資料の提供【継続】 ③ 様々な団体への資料提供と、団体貸出制度の周知【継続】 ④ 来館や活字による読書が困難な方々への図書館資料の提供【継続】 ⑤ 電子書籍導入の検討【継続】 ⑥ 司書の専門性を高めるための各種研修等への派遣【継続】	予約件数	788,834件	851,760件	850,300件	860,526件	862,000件	847,516件	・利用者のニーズを踏まえ、幅広い資料の収集するとともに、配本車の運行により市民や様々な団体への速やかな資料提供を行いました。 ・令和4年3月に電子図書館を開始し、電子書籍の充実やPRを行うとともに、児童生徒の学習タブレット端末で利用するIDを配付し、読書・学習支援を行いました。また、令和7年2月にオンラインでの利用申請も開始し、非来館サービスの充実に努めました。 ・来館や活字での読書が困難な方へのサービスを継続するとともに、令和6年4月に「新潟市読書バリアフリー推進計画」を策定し、読書バリアフリー情報サイトの開設やリーフレットの作成など、市民への啓発にも取り組みました。 ・様々な環境や市民のライフスタイルに応じたサービスを提	1・6・13

	施策② 課題解決のための レファレンスサービスの充実	的確・迅速なレファレンスに応じる体制により、市民の生活課題や地域課題の解決に役立つ図書館づくりを進めます。県立図書館や大学図書館、近隣自治体の図書館のほか、庁内各課や各分野の専門機関と連携を深めるとともに、資料や情報をリサーチし提供できる専門職員の養成に努めます。	①暮らしや健康など、市民に身近な生活課題解決のためのサービス提供や、ビジネス支援のための資料や情報の提供【継続】 ② 日常の調査相談を基としたレファレンスサービスの実施とサービスの周知、及びレファレンスデータ公開【継続】 ③ 紙媒体のほか「オンラインデータベース」など 市民への迅速かつ的確な情報の提供【継続】 ④ 行政運営や議員活動に貢献するレファレンスサービスの実施【継続】	レファレンス受付件数	90,571件	91,649件	129,287件	127,954件	129,000件	128,096件	課題解決や、市民ビジネス支援に役立つデータを提供してきましたが、利用の拡大にはつながっていないことが課題です。 ・暮らしや健康、相続など市民の関心の高いテーマの講座の開催やまた、起業に関する講座や融資相談会の開催により、課題解決の支援に努めました。 ・日常の生活課題からビジネスに関する調査、郷土の歴史など幅広い内容のレファレンスに取り組み、資料や情報提供を行い、また、蓄積したレファレンス事例をホームページや国立国会図書館レファレンス協同データベースで公開し、広く役立ててもらうことができました。 ・スマートフォンの普及や生成AIの活用などにより、個人で簡単に情報を得ることができる反面、情報の正確性が重要です。また、デジタルツールに不慣れな層も多く存在しています。今後は、レファレンスサービスの周知を図るとともに、課題の解決に役立つ情報提供を行う機関としての認知度が高まるよう、働きかけが必要です。	1・9・10

イ　特色ある地域づくりに寄与します。	概要	取組	指標	実績 令和2年度	実績 令和3年度	実績 令和4年度	目標 令和5年度	目標 令和6年度	実績 令和6年度	第二次図書館ビジョン（R2～R6）の成果と課題	学びのコンパス施策番号
施策① 地域資料（郷土資料・行政資料）の　体系的な収集	図書館は地域の情報拠点として、伝統・歴史・文化・風土などに関する、それぞれの地域固有の資料を幅広く収集するとともに、人口減少や少子高齢化が進む中、福祉・健康・子育て・産業・まちづくりなどについて、各地域の特性に応じた資料や情報を積極的に収集します。	① 各地域を代表する人物・自然・風土・産業など幅広い地域資料の収集【継続】 ② 各地域の課題解決や地域づくりに役立つ資料の積極的な収集【拡充】	郷土・行政資料の蔵書冊数	127,964冊	130,393冊	132,504冊	134,224冊	134,500冊	135,723冊	・郷土資料の発行情報を全館で共有し積極的に収集するとともに、各地域の風土や産業などの課題解決に役立つ幅広い資料の収集に努めました。行政資料は、紙で発行していた資料の多くがデジタル化に移行していることから、発行情報の把握やどのように収集・保存していくかが課題です。 ・各地域の課題解決や地域づくりのため、様々なテーマやイベントに取組みながら、美術館イベントや法務局との関連展示を実施しました。地域資料のデジタルアーカイブ公開の総点数は、67点になり令和3年度でデジタル化を完了しました。 今後は、地域の魅力を知り、地域の課題解決に役立てることができるよう資料の収集、整理、活用が必要です。	10
施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用	収集した地域資料については、展示コーナーの設置や講演会・セミナーといったイベントでの資料紹介、ブックリストの作成・配布など、より有効に活用し、地域の課題解決に役立てます。 また、所蔵している地域資料の中から、著作権の許諾を得たものについて、デジタル化を行い、広く公開します。	① 地域資料を活用した、地域への愛着や誇りを醸成する歴史や文化のコーナー設置や講座等の実施【継続】 ② 各地域の課題解決や地域づくりのためのテーマ展示の実施【継続】 ③ 地域資料のデジタルアーカイブ公開【継続】	資料のテーマ展示回数	661回	765回	819回	878回	880回	1,012回		10

ウ　子どもの読書活動を推進します。	概要	取組	指標	実績 令和2年度	実績 令和3年度	実績 令和4年度	実績 令和5年度	目標 令和6年度	実績 令和6年度	第二次図書館ビジョン（R2～R6）の成果と課題	学びのコンパス施策番号
施策① 子どもの読書環境の整備	「新潟市教育ビジョン第4期実施計画」及び「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」と足並みをそろえ、すべての子どもたちが、読書習慣を身に付けることを目指し、環境の整備や事業の充実を図ります。	① 出産前の保護者を対象とした絵本や読書に関する情報提供【新規】 ② ブックスタート事業の充実【継続】 ③「おはなしのじかん」や「赤ちゃんタイム」のなかでの絵本相談【新規】 ④「赤ちゃんタイム」の継続と「子育て応援コーナー」の充実【拡充】 ⑤ ティーンズを対象とした事業の実施【拡充】 ⑥ 読み聞かせ事業や保護者向け講座及び親子や子どもが参加する事業などの実施【継続】	児童書の貸出冊数（個人・団体）	957,839冊	1,071,306冊	1,066,256冊	1,157,227冊	1,158,000冊	1,052,349冊	・コロナ禍の影響で実施方法の変更や中止時期もありましたが、全館でブックスタートや「おはなしのじかん」、「学生司書活動」、「うちどく読書ノート配布」など、こどもの読書活動を推進するための様々な事業を実施しました。 ・乳児連れの保護者が来館しやすいよう実施している「赤ちゃんタイム」については、実施回数の拡大を行い、令和4年度には中央図書館及びすべての中心図書館で週2回の実施となりました。 ・園や公民館における子育て支援の講座に講師を派遣し、家庭での読み聞かせの大切さについて働きかけを行いました。園長会でPRを行ったことが依頼につながり、R6には派遣人数が大きく増加しました。 ・しかしながら、児童書の貸出冊数はR6には減少しました。 少子化の影響もあり図書館利用も減少しており、図書館単独の事業だけでは利用の増加が図れなくなっていると考えます。今後はさらに他の施設との連携事業を積極的に実施することで読書活動の推進に繋げていきます。 ・学校図書館への訪問や業務相談、教職員対象の研修、学校への団体貸出等を通して、学校図書館の環境整備及び活用推進を行いました。 ・読書バリアフリーに関する情報を学校へ提供し、「りんごの棚」や読書補助具の設置を働きかけました。引き続き、活用を推進します。	11
施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、 公民館などとの連携と支援	子どもにかかわる人や機関の取組を支援し、学校や保育園・幼稚園・認定こども園及び公民館などとの連携の充実を図ります。	① 学校、保育園・幼稚園・認定こども園、公民館などへの情報提供や講師派遣【継続】 ② 学校、保育園・幼稚園・認定こども園などの職場体験や施設見学の受け入れ【継続】 ③ 学校図書館支援センターによる学校図書館活用推進の支援【継続】	子どもの読書推進に関わる職員派遣のべ人数	77人	88人	116人	141人	145人	229人		2

エ　市民参画と協働を推進します。	概要	取組	指標	実績 令和2年度	実績 令和3年度	実績 令和4年度	実績 令和5年度	目標 令和6年度	実績 令和6年度	第二次図書館ビジョン（R2～R6）の成果と課題	学びのコンパス施策番号
施策① 利用者・市民による図書館運営への参画	図書館協議会からの意見のほか、市民の声に耳を傾け、図書館運営に参加できるような仕組みづくりを進めます。	① 図書館協議会の設置・開催【継続】 ②「図書館へのたより」など利用者の意見を把握する機会の確保【継続】	図書館協議会や利用者懇談会の開催	7図書館協議会で12回	7図書館協議会で9回	7図書館協議会で14回	図書館協議会を1回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	・令和4年度まで設置していた各区の協議会統合し、令和5年度から新潟市立図書館協議会を設置しました。 ・図書館ホームページや館内に「図書館長へのたより」の意見箱を設置し、接遇や運用面、施設等、様々なご意見やご要望をいただき、改善に向けた検討と対応を行いました。 ・絵本の読み聞かせやブックスタート、対面朗読などの事業に関わるボランティアの新規養成及び既存ボランティア対象のステップアップ講座や情報交換会を開催し、活動を支援しました。 ・令和4年3月から「にいがたし元気力アップサポーター」「新潟県いきいき県民カレッジ（令和6年3月で終了）」に登録し	

	施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力	図書館に関わる様々なボランティアを育成・支援し、ボランティアが活躍できる場を提供します。また、大学や専門学校などの教育機関や、民間団体など様々な連携先との協働をさらに推進します。	① ボランティアの養成講座や、活動中のボランティアを支援する講座の開催【継続】 ② ボランティア団体の交流・情報交換会の開催【継続】 ③ 大学・専門学校などとの連携・協力【継続】 ④ 地域活動団体などの民間団体やボランティアと連携した事業の開催【継続】	ボランティア参加のべ人数	2,374人	3,179人	4,134人	5,002人	5,030人	5,489人	たことで、配架ボランティアなどの個人参加の活動におけるモチベーションアップとなり、参加人数増加につながりました。 ・大学や専門学校の授業や地域活動団体の講座等に講師を派遣し、図書館事業への理解と周知を図りました。また、ボランティアグループや書店、地域の団体と協働して、絵本講座や人形劇等の様々なイベントを開催しました。 ・新潟地域図書館ネットワーク「めぐるくん」により、新潟市立図書館・新潟県立図書館・新潟大学附属図書館3館で配本車を運行し、資料の相互利用を行う取組を継続して行いました。	1・9